



世界平和の願い・社会科の授業の実践

～地球上から地雷をなくそう～

報告書 島根県出雲市立第二中学校 飯塚 守先生

1. 活動のポイント

今回、中学社会科、3年生公民的分野で「世界平和のために～地球上から地雷をなくそう～」の授業を行った。そのわけは、中学校3年間の学習のまとめとして、「世界平和」について改めて学習することは、意義深いと考えた。そこで、世界平和について考える切り口として、地雷問題に焦点をあて、授業を構成してみた。授業では、学級の生徒の人数を4人ひとつの班にして9つ作り、そのひとつの班が、地雷のレプリカを活用して説明・発表を行ったものである。

2. 実践

1, 単元名 世界平和のために～地球上から地雷をなくそう！

2, 目標

① 【社会的事象への関心・意欲・態度】

・地雷をなくすために、班で分担した内容について、意欲的に追求することができる。

② 【社会的な思考・判断】

・地雷をめぐる状況について、世界平和と関連させながら捉えることができる。

③ 【資料活用の技能・表現】

・班のメンバーと協力して、地雷について、自分なりにまとめたり、発表したりすることができる。

④ 【社会的事象についての知識・理解】

・地雷を巡る諸問題について、自分で調べたり他の班の発表から学び取り、有用な知識として身につける。

3, 基盤

この授業は、直接的には、公民的分野『第5章・地球社会とわたしたち』の内容に該当するものである。しかし、既に教科書は終えているので、中学校社会科の総まとめの授業として位置づけて実施するものである。3年間の学習のまとめとして、「世界平和」について改めて学習することは、意義深いと考える。そこで、国際平和について考える切り口として、地雷問題に焦点を絞って、授業構成することにした。世界の子どもを巡っても、戦争（紛争）や飢餓、貧困、少年兵、ストリートチルドレンなど、様々な問題を抱えているが、問題があまりにも多岐に亘るため、地雷にスポットを当ててその問題を追及する中で、平和な世界について考えさせ、平和な社会を創出していく主体的な態度を育成したい。現在、地雷は世界で7000万個～8000万個が埋設されていて、対人地雷によって死傷する人の数は、年間2万5000人以上と言われている。地雷は、誰かが踏むまで地中に残り、傷つける相手も選ばないことから「悪魔の兵器」とも呼ばれている。世界では、毎年約10万個の地雷が除去される一方で、それ以上の地雷が新たに生産されているという。一見、この問題は、子ども達の意識とはかけ離れていると思われるが、地雷を巡る事実を知れば、新たな事実に学び、考え、思い悩むことだろう。それが主体的な学びへと深化・発展することを願っている。今回、この授業に合わせ、地雷除去や少年兵支援活動に長年取り組んでいる鬼丸昌也氏（NGO「テラ・ルネッサンス」の理事長）を招いて講演会を開催する。その講演会の内容とも連動して、世界平和について改めて考える契機としたい。

- ・今回は2クラス合同の特設授業を行う。それは、よりダイナミックに、また、より多面的な思考に触れさせるためである。2組は男子16名、女子19名、合計35名。3組は男子16名、女子18名、合計34名のクラスである。どちらのクラスの生徒も熱心に学習し、進んで授業に参加する生徒が多く、挙手発言も多い。また、3～4人の学習班で話し合ったり、発表したりという活動にも生き生きと参加する生徒が多い。
- ・生徒の疑問や問題意識を大切にしながら、平和な世界や日本を築いていこうとする生徒を育てるため、適切な資料を生徒に提示し、考えさせていきたい。生徒自身が、調べ、まとめ、発表することにより、少しでも主体的な授業になるように工夫したい。

4, 特設授業の評価基準

①社会的事象への関心・意欲・態度	②社会的な思考・判断	③資料活用の技能・表現	④社会的事象についての知識・理解
「地雷をなくそう」の追究課題に迫るため、資料を収集したり、自分の考えをまとめて発表したり、進んで発表を聞こうとする。	「地雷」を巡る状況について、班員と協力しながら考え、自分の言葉でまとめ、提言として考えを述べるができる。	テーマについて、自分なりの視点や考えを加味して、わかりやすく発表資料をまとめることができる。	世界の地雷を巡る問題について、多面的に理解することができる

5, 単元の指導計画（総時間数7時間、本時6／7） 評価の観点

時間	主な学習内容	①	②	③	④	評価の方法
1	学習計画の確認、テーマ設定、グループ作り	○				ワークシート
2	調べ学習（自分の課題追求）		○		○	観察・自己評価
3	発表資料作り①（まとめ）	○		○		観察・自己評価
4	発表資料作り②（まとめ）	○		○		観察・自己評価
5	発表準備、発表内容の概要説明			○	○	観察・自己評価
6	発表（ポスターセッションによって）《本時》	○		○		観察・発表資料
7	学習のまとめ（私の提言）		○			ワークシート

6, 本時の学習

(1) ねらい

- ・世界平和のために～地球上から地雷をなくそう！～という課題について、調べたことを発表したり聞いたことにより、世界平和について考える。

(2) 展 開

段階	学習活動	教師の支援	評価の観点と方法
導入	1、2組・3組合同で集まり、本時の学習活動を確認する。	・動きやすく、発表したり、聞いて質問しやすい授業環境づくりをしておく。(体育館)	・集中して話を聞き、本時の課題を確認できたか。
課題追求	2、ポスターセッション		
	<p style="text-align: center;">●世界平和のために～地球上から地雷をなくそう！</p> <p>(1) 最初は、2組が発表し、3組が聞いて学ぶ側になる。9つの班が、2回ずつに発表する。1回の発表時間は、5分説明5分質問で合計10分とする。聞く側は、聞きたいと思った2つのグループの説明を聞く。 (2) 次に役割を交代し、3組が発表し、2組が説明を聞いて質問する側になる。同じように2つのグループの説明を聞く。</p>	<p>・あらかじめ「地雷」について、各クラス9つの追究テーマを設け、それをわかりやすく説明できるように、画用紙や模造紙などの必要な学習材料を準備しておく。</p> <p>・すぐに学習に入れるように、授業の前に、模造紙等の発表資料を体育館に提示しておく。</p> <p>・スムーズに役割が交代できるように、適切な指示を与える。</p>	<p>☆[発表活動]</p> <p>・班員と協力しながら、自分の言葉でわかりやすく説明できたか。</p> <p>・班の全員が活躍できたか</p> <p>・質問に的確に答えることができたか。</p> <p>★[学ぶ活動]</p> <p>・説明を集中して聞き、わからないことを質問することができたか。</p>
まとめ	3、ポスターセッションをとして考えたこと、感じたことを文章にまとめ、自己評価も書く。	・全ての発表資料が見渡せるようにし、振り返りができやすいようにする。	・ワークシートに、学んだことや発表についての自己評価を適切に書くことができたか。

(3) 研究の視点

- ・テーマを深める上で、ポスターセッションという方法が有効であったか。
- ・テーマを追求しようと、生徒が生き生きと授業に参加していたか。

3. 成果と課題

今回、生徒の疑問や問題意識を大切にしながら、平和な世界や日本を築いていこうとするため、資料として地雷のレプリカを提示した。地雷のレプリカは写真と違い、それだけリアリティを持っているので、授業の導入などで興味を持たせるには有効だと思った。模型の貸し出しは、そうした授業の展開を支えていると考える。今回の使用の他にも、地雷を使った劇などを考えていくことができると思う。



地雷のレプリカ